

職務紹介

自衛隊山梨地本便り

【発行】

自衛隊山梨地方協力本部
募集課広報班
山梨県甲府市丸の内1-1-18
甲府合同庁舎
055-253-1591

山梨地本
Twitter

Instagram

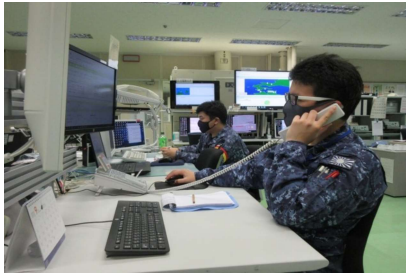


9月号では航空自衛隊の職務について紹介しましたが、今月号では、海上自衛隊を紹介します。海上自衛隊は、わが国の生存に不可欠な海洋の自由で安全な利用を守るため日々警戒監視や訓練等に取り組んでいます。活躍する場所は海の上だけではなく、飛行任務を担い空で活躍する者、陸から隊員をバックアップする者と、多様なステーションがある海上自衛隊について、山梨県出身隊員の声により紹介します。

1 大湊システム通信隊 運用科

3等海曹 園部 大輔

(山梨学院大学卒)



通信業務に従事する園部3曹(手前)

艦艇部隊の通常業務は、艦艇を常に出港できるように維持することです。突発的な任務行動も多いことから当直員だけで出港までの準備を整えられるよう業務をこなしています。私が所属している陸上部隊の通常業務は、ヘルプデスク業務であり、パソコンやシステムにおける疑問の解消やトラブルシューティングを行っています。

自衛隊は、国防へ直接貢献できる数少ない職場です。災害派遣や国際緊急援助活動など一般企業では行うことのない様々な経験やスキルを身に付けてはいかがでしょうか。

2 砕氷艦「しらせ」

第3分隊 電機員

3等海曹 中越 まりあ

(日本航空高校卒)

現在乗艦中である「しらせ」は海上自衛隊で唯一の砕氷艦であり、世界的に最高レベルの砕氷能力を有しています。

「しらせ」の主な任務は、物資や観測隊員の輸送、海洋観測等の支援です。海上自衛隊は昭和40年以降、南極地域

観測事業を支援しています。私の専門職種は電機員です。日々の主な業務は、各種機器の運転監視です。代表的なものは、「しらせ」の動力源である発電機やエンジンなどです。私は、これらの機器の不具合を未然に防止するために、日々の監視や整備、点検を怠ることなく続けています。

また、「しらせ」のクレーン操縦士としても働いており、国内外や南極において物資の揚げ卸しを実施します。

私が一番仕事にやりがいを感じる瞬間といえば、電機員として機器の不具合を検知し、その不具合を速やかに修理・復旧して、艦の任務遂行に貢献できた時です。このため私は、日々、電機員として知識技能の向上に努めています。私は、平成23年4月に入隊して以降、護衛艦を含む4隻の艦艇に乗り組んでいます。すべての勤務地において、たくさんの同期や上司、先輩、後輩に支えられてどの勤務地でも充実した勤務ができています。私にとって自衛隊の一番の魅力は、辛いことも楽しいことも共有できる職場の仲間に出会えることだと思います。

私たちが一番仕事にやりがいを感じる瞬間といえば、電機員として機器の不具合を検知し、その不具合を速やかに修理・復旧して、艦の任務遂行に貢献できた時です。このため私は、日々、電機員として知識技能の向上に努めています。私は、平成23年4月に入隊して以降、護衛艦を含む4隻の艦艇に乗り組んでいます。すべての勤務地において、たくさんの同期や上司、先輩、後輩に支えられてどの勤務地でも充実した勤務ができています。私にとって自衛隊の一番の魅力は、辛いことも楽しいことも共有できる職場の仲間に出会えることだと思います。



クレーンを使用した観測隊物資輸送



クレーンを操縦する中越3曹



昨年度は、「第61次南極地域観測協力行動」に従事し、令和元年11月12日に東京港晴海ふ頭から昭和基地に向け日本を出国、南極の昭和基地への物資輸送や海洋観測支援等を実施して帰国しました。

防大等各種試験実施される

1 防衛医科大学校 医学科試験(1次)
10月24日(土) 及び25日(日)の2日間、甲府市の甲府合同庁舎において実施されました。初日には、難解な読解力を問われる英語の試験対策のため、休憩時間中に参考書を開き最後まで対策を行う受験者がみられるなど、試験に臨む意気込みが感じられました。

2 防衛大学校 一般試験(1次)
11月7日(土) 及び8日(日)に甲府合同庁舎及び都留文科科大学において実施されました。試験は、人文・社会学専攻と理工学専攻の区分で実施され、合計で100名を超す方が各会場で試験に臨みました。試験は英語以外に人文・社会学専攻が国語、社会、理工学専攻が数学、理科の各科目と小論文が課せられましたが、受験者は最後まで集中して試験に臨みました。また、都

秋季の自衛官等採用試験も終盤に差し掛かりましたが、各会場では、マスクの着用、手指の消毒等に加え、11月15日(水)からは、新たに加湿器の使用を開始し、新型コロナウイルス感染拡大防止策に万全を期して試験を実施しています。

3 第5回自衛官候補生採用試験

11月15日(日) 北富士駐屯地において実施され、高校生から社会人まで、7名が受験しました。受験者は少数でしたが、皆さん入隊への熱意に溢れ、口述試験では「以前の仕事で培った体力を自衛隊でも活かしたい」「災害発生時に国民を守りたいと考え陸上自衛隊を志願した」など自己PRや志望動機を力強く答えていました。

自衛官等採用試験は、現在、陸上自衛隊高等工科大学校生徒(一般)及び技術費学生が受付中です。採用に関するご案内は、随時実施しております。また、山梨地本のHPでも紹介していますので、是非ご確認ください。



受付中の種目



陸上自衛隊高等工科大学校

ここでしか学べない3年間がある

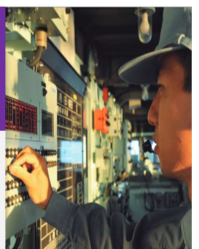
(区分：一般受験)

■受付期間	令和3年 1月6日(水)まで
■試験日	1次 令和3年 1月23日(土)・24日(日)
	2次 令和3年 2月4日(木)～7日(日)
	(※いずれか1日を指定)

貸費学生

知識と技術で拓く スペシャリストへの道

- 受付期間：令和3年1月15日(金)まで
- 試験日：令和3年1月30日(土)
- 受験資格 大学の理学部、工学部の3・4年次又は大学院(専門職大学院を除く)修士課程在学(※詳細はお問い合わせください。)



自衛官等採用試験は現在、左記の種目を受付しています。この内、陸上自衛隊高等工科大学校(一般)・1次試験の試験は甲府市で受験することになります。採用試験に関するお問合せ等は、随時対応いたしますので、お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】山梨地方協力本部：055-253-1591 大月地域事務所：0554-22-1298

甲府募集案内所：055-228-6427 同巨摩地域担当：055-283-5150

【HP】<https://www.mod.go.jp/pco/yamanashi/>

家族会南関東協議会開催

また、休憩後には、北富士駐屯地司令大塚1佐から、最近の安全保障環境を踏まえた第1特科隊の現状と将来についての防衛講話が実施され、全保障環境・作戦環境の変化や脅威に対する自衛隊の対応が説明されました。参加者は熱心に耳を傾けるとともに、終了後には様々な質問が寄せられました。

2日目は、北富士駐屯地において、部隊見学が実施されました。参加者は、概要説明、装備品説



定例会議(合同庁舎)10.28(水)

山梨地本は、10月28日(水)及び29日(木)の2日間、自衛隊家族会南関東地域協議会(会長 高橋亨氏)が開催した定例会議等を支援しました。1日目は、甲府合同庁舎において、定例会議が実施されました。南関東地域協議会に属する1都6県の家族会会長、同事務局長及び各地本長が出席し、「おやばと3種郵便化」「自立した家族会について」に関する意見交換が実施されました。

自衛隊山梨地本便り

【発行】
自衛隊山梨地方協力本部
募集課広報班
山梨県甲府市丸の内1-1-18
甲府合同庁舎
055-253-1591



LINE@



訓練展示(北富士駐屯地)10.29(木)



装備品展示(北富士駐屯地)10.29(木)

山梨地本では、引き続き家族会の着実な充実・発展に積極的に寄与していきます。



令和2年度山梨県自衛隊殉職隊員追悼式

令和2年度山梨県自衛隊殉職隊員追悼式が11月6日(金)北富士駐屯地において、北富士駐屯地司令大塚1佐を執行者として、厳粛かつしめやかに執り行われ、山梨地本は、共催機関として支援を実施しました。

今年度の式典は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために会場を屋外の駐屯地慰霊碑前に変更して執り行われました。式典には、殉職隊員のご遺族のほか、駐屯地各部隊長等が参列し、殉職された10柱の御霊に対し、心からの哀悼の意を表するとともに、参列された5名のご遺族の方々をお慰めしました。

式では「追悼の譜 国の鎮め」の流れる中、拝礼が行われ、執行者である北富士駐屯地司令、共催者山梨地本長の追悼の辞の後、「慰安する」の流れる中、献花が実施され、参加者の新たな涙を誘っていました。

式典の後、引き続き「ご遺族との懇



献花を行う本部長



予備自衛官補教育訓練を見事修了

山梨地本は11月1日(日)、陸上自衛隊武山駐屯地で実施された予備自衛官補教育訓練修了式に参加し、3名の山梨県出身者に対し教育訓練修了を祝うと共に、今後の予備自衛官としての活躍を祈念し予備自衛官採用の辞令書を手交しました。

予備自衛官については、自衛官として1年以上勤務した者(自衛官候補生の期間を含む)が、採用時に退職時の階級を指定されるのに対し、予備自衛官補は主として自衛官未経験者が採用され、一般は3年間で50日間、技能は2年間で10日間の教育訓練を経た後、予備自衛官として任用される制度であり、教育訓練のすべてを修了すると予備自衛官に任用され階級が指定されるもので、平成13年度から実施されています。



辞令書を手にする参加者

この日は天候にも恵まれ、教育訓練修了式では第117教育大隊長から修了証書が手渡された後、地本援護課長から一人一人に「予備自衛官に採用する 2等陸士の階級を指定する」の本部長名の辞令書が手交され、受け取った3名は予備自衛官としての決意を新たにしていました。

今後は、学生、あるいは社会人として、併せて予備自衛官としてそれぞれ両立させていくこととなりますが、山梨地本では安心して招集訓練に出頭できるよう、出頭環境の整備等に努めて参ります。

談を行い、終始和やかな雰囲気の中で相互の親睦を深めました。

山梨地本は、今後とも「ご遺族の方々に対して、より良いサポートが出来るよう、努めて参ります。」

予備自衛官5日間訓練

山梨地本は10月30日(金)から11月3日(火)までの間、第1特科隊第3中隊(北富士駐屯地)が担任・実施した令和2年度第4回予備自衛官5日間訓練に、予備自衛官50名を招集しました。

訓練初日、出頭した予備自衛官は健康診断を受けた後、訓練開始式に臨み、第1特科隊第1中隊長に対して訓練開始申告を実施しました。申告終了後は第1特科隊副隊長の精神教育を受け、翌日に実施される小火器射撃に備え、射撃予習を行いました。2日目の訓練は、秋晴れの下、屋外射撃場での射撃となりましたが前日の射撃予習の成果を遺憾なく発揮し、全員優秀な成績で終える事が出来ました。

午後には、職務訓練として格闘を行い関節技の練度向上に励みました。

3日目は、FHI-70による操砲訓練後、山梨地方協力本部長から、上限まで任期を全うした予備自衛官に対し顕彰状の授与及び、永年勤続者に対する永年勤続表彰が行われ、併せて隊友会からは、勤続記念章が授与されました。受賞した隊員からは、「身が引き締まる思いです。今後も訓練に励み、いざと言う時に国民から信頼される予備自衛官を目指します。」との頼もしい声が聞かれました。

4日目以降は、野外において特殊武器防護訓練や、敵と味方に別れ陣地における対敵行動を演練しました。



表彰式



操砲訓練



山梨地本は、今後も予備自衛官及び招集訓練部隊との綿密な連絡・調整を行い、安心して訓練に参加できるように環境を整え、訓練参加率の向上に努め、併せて即応予備自衛官の募集広報の充実に努めてまいります。

